



PhoenixTM 
Phoenix Temperature Measurement

HTS06 システム

アルミニウム熱処理工程



...where experience counts!

Phoenix™ HTS06システム アルミニウムプロセス用

データロガー

フェニックス™のデータロガーは、厳しい工業環境での使用に耐えるよう設計されています。電子回路は頑丈なアルミニウムケースで防水保護されています。ノイズ除去及びエラー検出付温度補償は、正確で信頼できるデータを確実にします。

オプションの双方向通信可能な無線遠隔測定は、データロガーのリセット・ダウンロードを遠隔で行うことができ、リアルタイムにデータを分析することができます。

全てのロガーは、国家標準にトレースされた校正証明書付です。必要ならばオプションで、UKAS (イギリス) やDKD (ドイツ) の校正証明書も提供可能です。

利便性と将来的に参照にしたい場合に、オリジナルの証明書のコピーとキャリブレーションデータは、データロガー内に格納され必要に応じてアクセスすることができます。



型式	PTM1-206HT, PTM1-210HT, PTM1-220HT
チャンネル数	6, 10, 20
熱電対タイプ	KまたはN
測定レンジ	タイプK: -100°C ~ +1370°C タイプN: -100°C ~ +1300°C
精度	+/- 0.3°C
分解能	0.1°C
動作可能最大内部温度	110°C
電池タイプ	単三リチウムバッテリー x 2個
測定周期	0.2秒から1時間の間で調整可能 全てのチャンネル選択時においても)
メモリー	最大3,800,000データ、不揮発性メモリー
スタート方法	時間、温度、ボタン、ソフトウェア
PC接続 寸法	有線接続またはブルートゥース 20 x 98 x 200mm (h x w x l)

オプションとして双方向無線伝送も可能です。



頑丈で水に強いケースは、厳しい環境で使用できます。



Bluetooth(ブルートゥース)
PCコネクション



標準電池:
測定時間1000時間可能



温度プロファイルとは何か？

工業用のオープンや炉はゾーン制御のための熱電対を使用しています。しかしながら、これらの熱電対はそれぞれのゾーンの雰囲気温度を測定するだけで、熱処理が正しく行われたかどうかを判断するための極めて大切な製品温度を示すものではありません。

フェニックス™は、問題を解決できます。

我々のシステムは、正確な熱バランスを得るために製品に接続された最大20本の熱電対から温度を記録し、炉内を製品と一緒に通過していきます。システムは工程を中断することなく、製品と一緒にラインに入れることができ、製品温度の本当の姿を得ることができます。

測定後には、強力な分析機能を持ったソフトウェアでデータを分析することにより、仕様に合っていたかを確定できます。

測定試験は迅速に炉内の問題を解決し、お客様に一貫して工程が管理されていることを保証します。





TS06耐熱ボックス

高温処理や水焼入れがある溶体化処理や時効処理に最適です。

耐熱ボックスは、炉内でデータロガーの温度が上がらないよう、水の蒸発原理が利用されています。工程の標準である焼入れの水を再吸入して、その後の時効処理での耐熱時間を延ばします。

水焼入れの際、熱電対接続部は、ステンレスのコンプレッションフィッティングとガスケットでシールされデータロガーを守ります



標準TS06シリーズ 仕様

型式	TS06-210	TS06-215	TS06-310
500°C / h	9.5	13.0	24.0
550°C / h	8.0	11.0	20.0
600°C / h	7.2	9.0	16.0
高さ mm	210	215	310
幅 mm	400	472	472
長さ mm	520	640	640
重量/Kg	18.0 / 25.0	25.5 / 38.5	30.0 / 59.0

水焼入れ後は、200°Cで10時間の時効処理にも耐えられます。

貴社の工程にどんな耐熱ボックスが必要ですか？
要求事項をお知らせください。貴社に合わせて設計致します。
私たちは、常に開発を続け、新しいチャレンジを楽しみにしています。

簡単に準備ができる耐熱材フレーム



ログアトレイは、早く簡単にロガーを組み込むことができます。



ステンレスのコンプレッションフィッティングは、水の浸入を防ぎ、熱電対を張力から守ります。



熱電対

250°Cから1000°Cの温度には、シース熱電対が一般的です。
シース熱電対は、酸化マグネシウムで絶縁され、金属で保護されています。
特別なアプリケーションには、別の絶縁材料の熱電対を供給できます。

熱電対は、重要なポイントの温度を記録するため、機械的に保持するか、穴に入れて留めます。



Kタイプ又はNタイプの
1.5φ、2.0φ シース熱電対

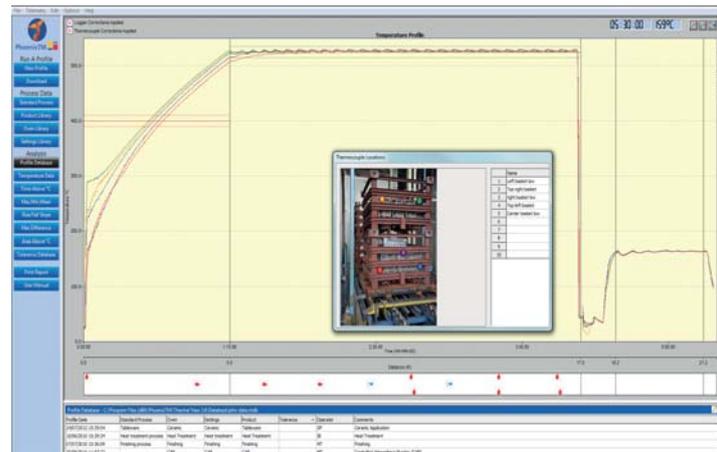
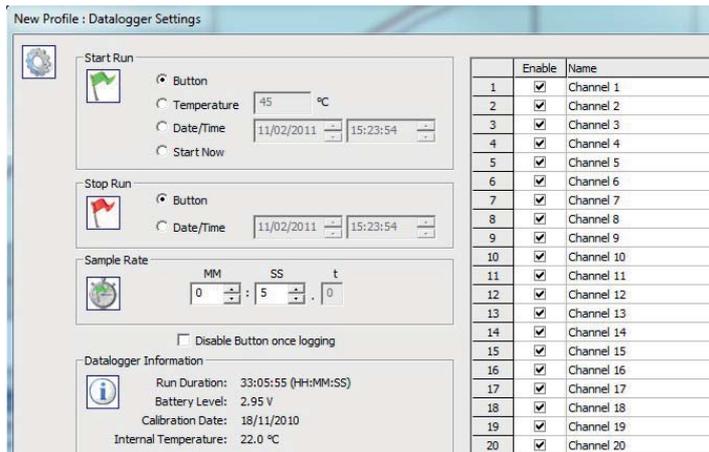


Thermal View Plus

完璧な結果を得るための簡単な方法



PhoenixTM
Phoenix Temperature Measurement

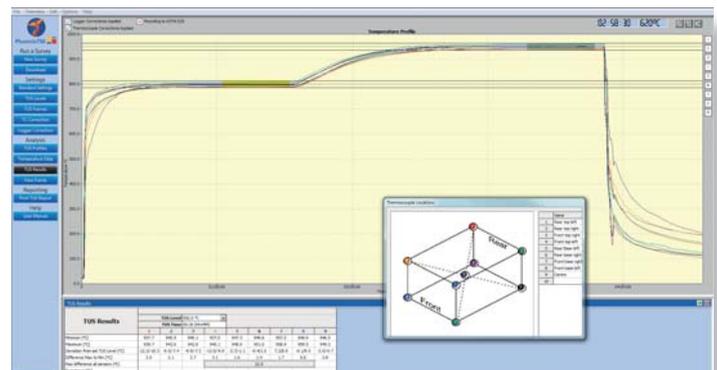
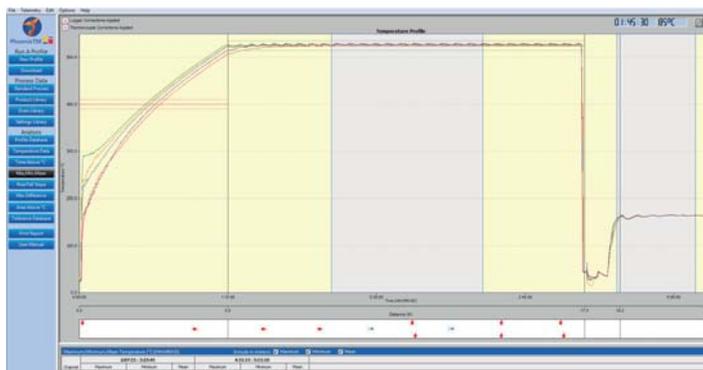


単純な入力

- どのようにデータロガーをスタートするか？
- 測定周期は？
- 使用する熱電対の数は？

定期的な測定にはワンクリックでデータロガーのスタートボタンを押して下さい。

サーマルビューソフトウェアのグラフィックウィンドウに温度プロフィールが表示されます。個々の熱電対の表示をオン・オフできます。詳細な分析には、ズーム機能が使用できます。



シングルクリックで、分析あるいはレポートを作成できるようにスクリーンの左側に分析ツールボタンをわかりやすく配置しています。

別のソフト、サーマルビューサーベイソフトでは、AMS2750の要求事項に合ったサーベイが可能です。熱電対及びデータロガーの誤差補正係数やTUSレベル、許容範囲、ラックの詳細図、オーバーシュートの検出、データのインポート/エクスポート、AMS2750検査報告書の機能を備えています。デモバージョンをご要望の方は、お問い合わせを!



PhoenixTM Ltd
25 Earith Business Park
Meadow Drive,
Earith, Cambridgeshire
PE28 3QF, UK
Tel.: +44 1353 223100



www.Phoenixtm.com
sales@phoenixtm.com

NISSODEN

本社: 愛知県愛知郡東郷町大字春木字仲田4-1,
東京営業所: 東京都文京区本駒込2-27-15

Tel.: +81(0)561 38 0211,
+81(0)3-5319-4663

www.nissoden.co.jp
nisso@nissoden.co.jp

 PhoenixTM LLC, USA
info@phoenixtm.com

 PhoenixTM GmbH, Germany
info@phoenixtm.de